低温発火

↑動画公開↑

通常、壁の中の木材は、400℃を超える温度にならないと燃えません。しかし、こんろと壁の距離が近すぎると、壁の仕上げがステンレス等の不燃材料であっても、こんろを使用し続けることにより、壁内の木材が徐々に炭化して蓄熱していきます。

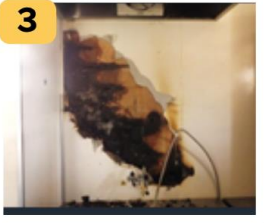
この状態が続くと100℃程度の低温でも燃え出すことがあります。



木材が徐々に加熱



炭化し、蓄熱する



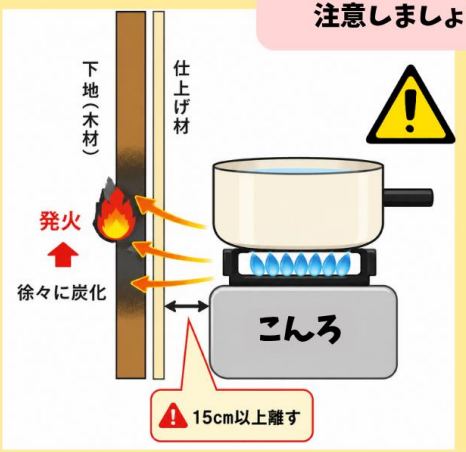
低温発火の発生

火災予防条例における離隔距離の一例

（厨房設備　気体燃料　不燃以外　14kw以下）

上方	側方	前方	後方
100cm	15cm	15cm	15cm

注意しましょう！！



15cm以上離すこと！

低温発火の危険箇所

1. こんろ、レンジが接近している壁体、底面の台など
2. 煙突等が貫通している壁体あるいは屋根
3. 乾燥室内のスチームパイプ接触部
4. サウナ室のヒーター等の熱源周辺





こんろ周りの確認をしてね

離隔距離を確保していても、使用するこんろの火力によって、低温発火を起こす場合があります。